

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

特別な意匠で暮らしをデザインし
その空間を永く守り続ける

水性高意匠光輝性フレーク塗材

Crystal Art® UV

クリスタルアート®UV

Crystal Art® CERAMIC

クリスタルアート®セラミック

Crystal Art® UV Crystal Art® CERAMIC

輝きとデザイン性、そして強さをコーティングする ※強さは耐候性を示しています。

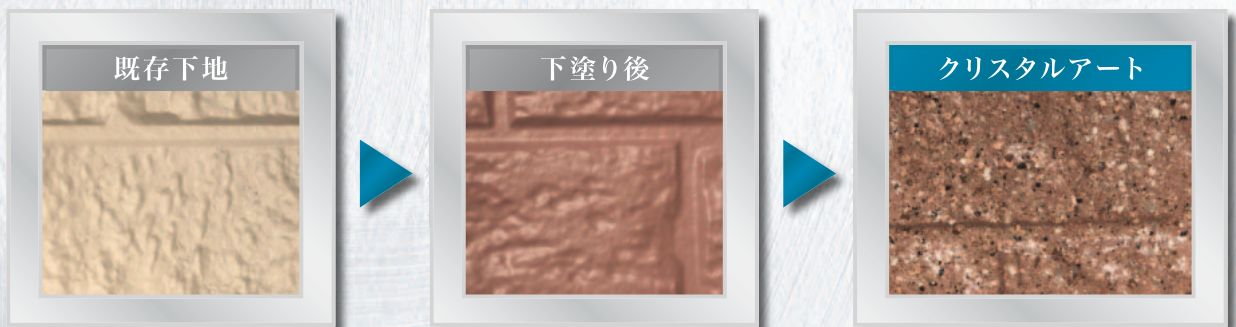


※写真はイメージです。

普通のリフォームで終わらせない ～外観に輝きとデザイン性、そして強さをプラスし建物の価値を上げる～

戸建住宅の外壁の主流であるサイディングの寿命は素材によって異なりますが、
10年を超えたら塗り替えを検討し、劣化を抑制することで住宅の価値を守ることにつながります。
この際に、より耐候性の高い改修塗材を採用することで、長期的スパンでのメンテナンスコストを抑えることができます。

クリスタルアートは、奥行きある優れた意匠性を付加し、住宅に他にはない特別な風合いを持たせるだけでなく
高い耐候性を備えております。特にクリスタルアート セラミックは優れた耐候性を持ち住宅及び美観を最高レベルで維持します。



クリスタルアート名前の由来

クリスタルはその見た目の美しさばかりでなく風化にも強い性質を持っています。これらと本塗料の持つ高耐候性と輝きある高い意匠性の特長を掛け合わせて、クリスタルアートと名付けられました。



※本塗料は水晶を配合するものではありません。

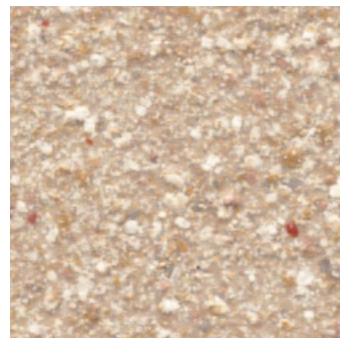
Concept



•NCA-01
•NCCR-01



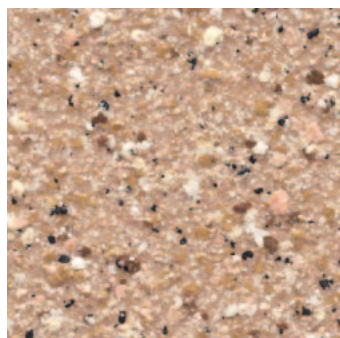
•NCA-02
•NCCR-02



•NCA-03
•NCCR-03

Flower Garden

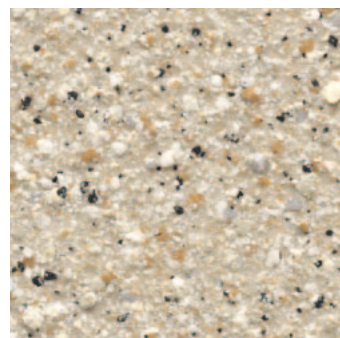
花畑のような華やかさが暮らしに彩りを添えます。



•NCA-04
•NCCR-04



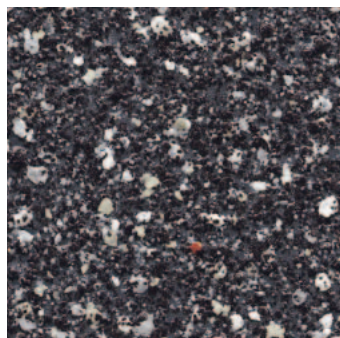
•NCA-05
•NCCR-05



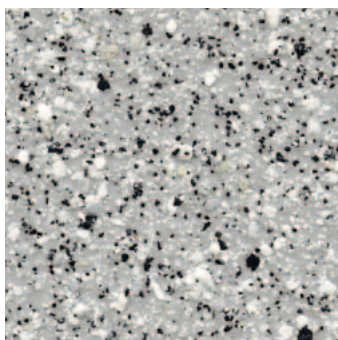
•NCA-06
•NCCR-06

Harvest

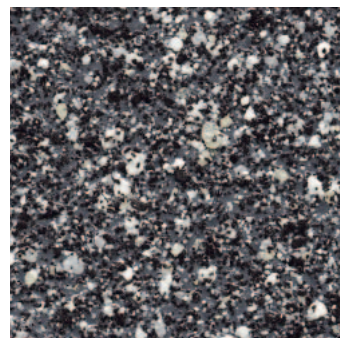
秋の収穫を思わせるような充足感と落ち着きを住まいに与えます。



•NCA-07
•NCCR-07



•NCA-08
•NCCR-08



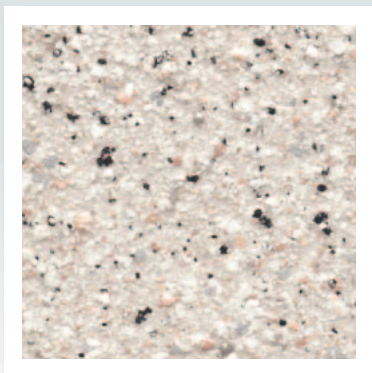
•NCA-09
•NCCR-09

Mono

モノトーンで目を見張るようなスタイリッシュさを演出します。



●NCA-10
●NCCR-10



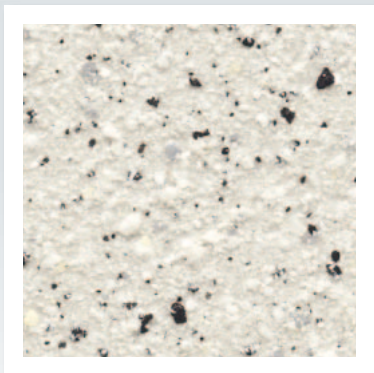
●NCA-11
●NCCR-11



●NCA-12
●NCCR-12

Cozy

心地よさを感じさせる色合いで居心地の良さを生み出します。



●NCA-13
●NCCR-13



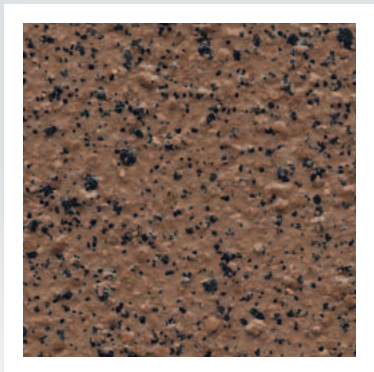
●NCA-14
●NCCR-14



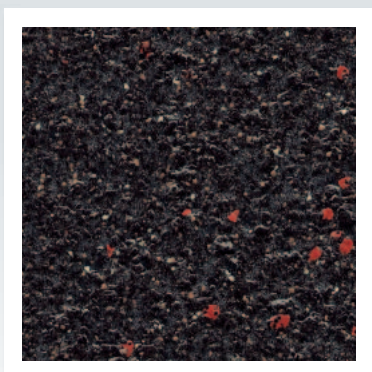
●NCA-15
●NCCR-15

Relief

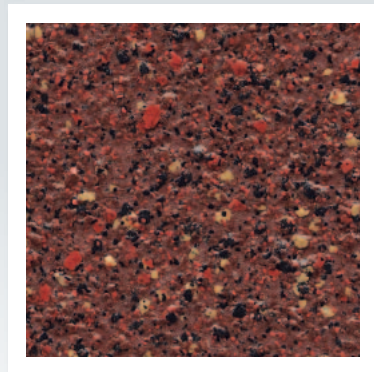
ホワイトベースで清潔感と安心感をもたらします。



●NCA-16
●NCCR-16



●NCA-17
●NCCR-17



●NCA-18
●NCCR-18

Luxurious

ハイブランドを思わせる重厚感が贅沢な雰囲気醸し出します。

※NCAはクリスタルアートUVの色番号、NCCRはクリスタルアートセラミックの色番号になります。ご注文の際はお気をつけください。

*このカタログに使用されている写真及びイラストはイメージです。意匠をお選びになる際には、実際塗装されているものとして色見本帳がございますので、そちらをご参照ください。

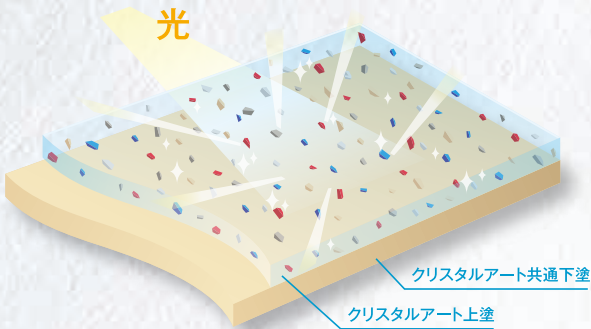
*被塗物の形状や作業機器、作業方法により仕上がりが異なります。実際の仕上がりにについてはお施主様と試験施工などで事前にご確認ください。

きら

新築の煌めきを再び

高意匠性

上塗りには光輝性透明顔料と光輝性着色顔料を様々な大きさにブレンドしています。クリアー層に侵入した光が層内で乱反射することにより表面の光輝性と多彩な色合いを表現します。

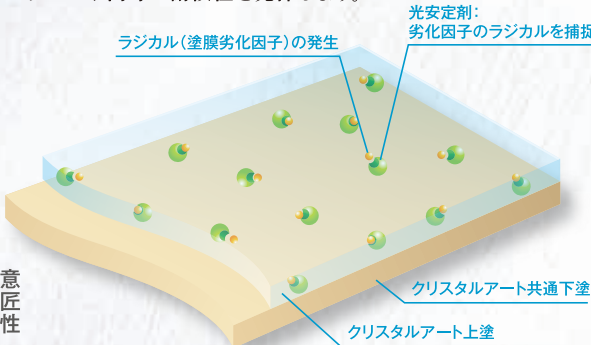


高耐候性



クリスタルアートセラミック
無機成分(SiO₂)をより多く配合した無機系樹脂を採用。光安定化剤の効果と併せ高耐候性を最大限に発現します。

クリスタルアートUV
アクリルシリコンの高耐候性樹脂を採用。塗膜劣化因子となるラジカルを捕捉する光安定化剤を配合することでフッ素グレード同等の耐候性を発揮します。



それぞれのの上塗りに光安定化剤を配合

※耐候性の各グレードは当社の各樹脂耐候性区分をもとに分類しています。各塗料の樹脂組成と耐候性グレードは異なる場合がございます。例えば、シリコン樹脂系の塗料でも、フッ素グレードの耐候性を有している製品については、フッ素グレードとして表記しています。

省工程(吹付け)

専用下塗りを採用することでシーラーレス塗装が可能になり、最短で2工程で施工が完了するため、工期の短縮にもつながります。

ローラー施工可能

ローラー施工(下塗り1回、上塗り2回)も可能です。
*平滑面や目地が深い窯業サイディングボードなど下地の凹凸が大きい場合は、上塗りの塗着性が低下するため吹き付け施工を推奨します。

水系

環境配慮した水性仕様です。

低汚染性

塗膜表面を親水化し、汚染物質の付着を抑制します。

防藻・防かび性

藻やかびの発生を塗膜で抑制します。

微弾性機能

専用下塗りとセットにすることで微弾性のある塗膜となり、微弾性の旧塗膜に追従することができます。

■ 適用下地(住宅外壁塗り替え改修用)

- 窯業系サイディングボード
- モルタル面
- コンクリート面
- ALCパネル面

各種旧塗膜の上
(高弾性タイプは除く)

■ 荷 姿

*下塗りは、上塗りと同じ番手を必ずご使用ください。

塗料名	容 量	色相数
クリスタルアート 共通下塗	15kg	18色
クリスタルアートUV上塗	16kg	18色
クリスタルアートセラミック上塗	16kg	18色

標準塗装仕様

■ 吹付け塗装仕様

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地処理	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。ごみ、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄面とする。釘頭のさびはサンドペーパー、研磨布などを用いて除去し、さび止め塗料で補修塗りをする。						
下塗り	クリスタルアート共通 下塗	1*	0.25~0.35	3時間以上	無希釈	—	はけ、ウールローラー
上塗り	クリスタルアートUV 上塗	1	0.50~0.70	—	水道水	0~5	万能ガン塗り
	クリスタルアートセラミック 上塗					0~3	

■ ローラー塗装仕様

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地処理	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。ごみ、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄面とする。釘頭のさびはサンドペーパー、研磨布などを用いて除去し、さび止め塗料で補修塗りをする。						
下塗り	クリスタルアート共通 下塗	1*	0.25~0.35	3時間以上	無希釈	—	はけ、ウールローラー
上塗り	クリスタルアートUV 上塗	2	0.25~0.35	4時間以上	水道水	0~5	ウールローラー
	クリスタルアートセラミック 上塗					0~3	

*下地が隠べいしない場合は2回塗りとなります。＊クリスタルアートは下塗りと上塗りの組合わせて意匠が発現することを想定しています。下地は素地が隠べいするまで十分に塗装してください。＊上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。＊上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。＊吹き付け塗装の場合、口径5.5mm手元圧3.0~4.0kgf/cm²での万能ガン塗装を推奨いたします。＊ローラー塗装の場合、毛丈13-15mmのウールローラーを推奨いたします。なお、平滑面や目地が深い窯業サイディングボードなど下地の凹凸が大きい場合には吹き付け塗装をしてください。＊下塗りは上塗りと同じ色名のものをご使用ください。＊施工方法の詳細については別途施工要領書をご確認ください。

■ 施工上の要点・注意事項（詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください）

- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 塗装後、養生テープはナイフカットして取り外してください。
- 施工に関しましては、必ずクリスタルアート施工説明書をご参照ください。
- 窯業サイディングボードの突き合わせ部などは、動きが大きい場合があります。そのため経時でのひび割れ発生の可能性がありますので、できるだけ施工を避けてください。
- 防凍・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後拭きして除去してください。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後はけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ 浸透性シーラー(新)、ニッペ ファイン浸透シーラー、ファインパーフェクトシーラーをご使用ください。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、このような場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行ってください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 素地の乾燥は十分に行ってください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ 1材カチオンフィラー、ニッペ 1材フィラー #200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- 開閉後放置する時は皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。
- カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などものが常時置かれるような場所には跡がつくおそれがありますので塗装しないでください。
- 屋外塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 22.塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 23.塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にに行い、火気厳禁にしてください。
- 24.飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 25.シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフブ

- ライマーを下塗りすることで、可塑性移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 26.笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
 - 27.大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
 - 28.汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
 - 29.クロスの上の塗装は避けてください。
 - 30.可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビ珪鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
 - 31.表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はつ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
 - 32.塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
 - 33.開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
 - 34.塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 【クリスタルアート共通下塗り】
- 1.塗り替えの場合で下地がぜい弱な場合や吸い込みが大きい場合、または新設塗装工事の場合には、シーラーを下塗りしてください。
 - 2.旧塗膜が高弾性塗膜の場合は適用できない場合があります。
 - 3.動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 【クリスタルアート上塗り】
- 1.希釈した状態で長く置いておくともフレークが沈降する場合があります。再度使用する場合は十分にかくはんしてご使用ください。
 - 2.機器および道具類の使用後は、そのまま放置しないですぐ水につけ、その後必ず水洗いしてください。塗料が付着したまま放置して乾燥しますと、こびりついて取れなくなります。
 - 3.下地の状態や形状、面積、塗料温度、塗装条件などによって、見本と色調および模様との差異を生じる可能性がありますので、塗装前に試し塗りをしてください。
 - 4.多彩塗料ですので、ロット差による多少の色相のずれはあらかじめご了承ください。
 - 5.仕上がり模様は、事前に試し塗りをを行い条件などを設定してから本施工に入ってください。
 - 6.塗装直後と乾燥後では若干色が異なる場合があります。
 - 7.エアースプレー距離はすべて標準のものです。それぞれの設定ならびに塗料吐出量の調整は随時行ってください。
 - 8.塗装機は一度水洗いした後、ラッカーシンナーなどで洗浄してください。
 - 9.被塗物の構造、部位、塗装仕上がり形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
 - 10.色相によっては降雨、結露によってめれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
 - 11.乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
 - 12.スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。

- ・内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すなど環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

- 本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店	☎ 011-370-3101	近畿支店	☎ 06-6455-9608
東北支店	☎ 022-232-6711	中国支店	☎ 082-281-2180
関東支店	☎ 03-5479-3614	四国支店	☎ 0877-56-2346
北関東信越支店	☎ 03-5479-3614	九州支店	☎ 092-751-9861
中部支店	☎ 052-461-1960		

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2024 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>